

令和4年度第1回桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 会次第

日 時：令和4年4月27日（水）15：20～16：00

場 所：鹿児島市役所みなと大通り別館6階ソーホー会議室

1 開 会

2 報告事項

桜島・錦江湾ジオパークアクションプランの提出について

3 議 事

- (1) 第1号議案 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則の一部改正
- (2) 第2号議案 桜島・錦江湾ジオパーク推進計画改訂（案）
- (3) 第3号議案 令和3年度事業報告
- (4) 第4号議案 令和3年度収支決算
- (5) 第5号議案 令和4年度事業計画（案）
- (6) 第6号議案 令和4年度収支予算（案）

4 その他

5 閉 会

【配布資料】

- (1) 会次第
- (2) 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会名簿及び座席図
- (3) 報告事項関係資料
- (4) 議事関係資料（第1～6号議案）
- (5) 別冊1 桜島・錦江湾ジオパーク推進計画改訂（案）
- (6) 別冊2 桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全計画改訂（案）

第1号議案

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則一部改正の件

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則（平成30年5月7日施行）の一部を次のように改正する。

第13条中「鹿児島市観光交流局観光交流部世界遺産・ジオパーク推進課」を「鹿児島市観光交流局観光交流部世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課」に改める。

付 則

この会則は、令和4年4月 日から施行する。ただし、改正後の規定は、令和4年4月1日から適用する。

(改正理由)

鹿児島市の組織改編に伴い、改正するもの。

(参考)

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則新旧対照表

_____は改正部分

現行	改正案
第13条 省略	第13条 省略
2 協議会の事務局は、鹿児島市観光交流局観光交流部 <u>世界遺産・ジオパーク推進課</u> に置く。	2 協議会の事務局は、鹿児島市観光交流局観光交流部 <u>世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課</u> に置く。
3 省略	3 省略

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、桜島・錦江湾におけるジオパークに関する活動を地域一体となって推進していくことを通して、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) ジオパークに関わる企画・実施に関すること
- (2) ジオパークに関わる情報発信に関すること
- (3) その他第2条の目的を達成するために必要な事項に関すること

(構 成)

第4条 協議会は、別表1に掲げるものをもって構成する。

(役 員)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 会長及び副会長は、委員の互選により選任する。

2 監事は、公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事及び鹿児島市ホテル旅館組合理事長とする。

(役員の任期)

第7条 役員の前任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。

3 欠員補充のため選任された役員の前任期は、前任者の前任期とする。

(役員の前務)

第8条 役員の前務は次のとおりとする。

- (1) 会長は協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
- (3) 監事は協議会の会計を監査する。

(会議)

第9条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 会議の前議長は、会長がこれを務める。

3 会議は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 事業計画並びに予算及び決算に関すること。
- (2) 前各号に掲げるもののほか、事業に係る重要な事項に関すること

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

5 やむを得ない理由のため会議を招集できない場合は、書面又は電磁的方法により、審議し、決定することができる。

(幹事会)

第10条 協議会の運営を円滑に行うため、幹事会を置く。

2 幹事会は、事業計画並びに予算及び決算等を審議し、協議会に提案する。

3 幹事会は、協議会の事業に関する具体的な事項について検討する。

4 幹事会は、別表2に掲げるものをもって構成する。

5 幹事会に座長を置く。

6 座長は鹿児島市観光交流局観光交流部長とする。

7 座長の職務等については、第8条第1号並びに前条第1項、第2項、第4項及び第5項の規定を準用する。

(ワーキンググループ)

第11条 協議会の個別の事業に関する具体的な事項について検討し、その推進を図るため、幹事会に、ワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(学術アドバイザー)

第12条 協議会に、学術アドバイザーを置く。

2 学術アドバイザーは、別表3に掲げるものをもって構成する。

3 学術アドバイザーは、事業に関し必要に応じて助言を行う。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 協議会の事務局は、鹿児島市観光交流局観光交流部世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課に置く。

3 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第14条 協議会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

(会計期間)

第15条 協議会の会計期間は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

(その他)

第16条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

付 則

1 この会則は、平成25年4月12日から施行する。

2 平成25年度の会計期間は、第14条の規定にかかわらず、平成25年4月12日から翌年3月31日までとする。

付 則

この会則は、平成26年4月22日から施行する。

付 則

この会則は、平成27年4月22日から施行する。ただし、第12条第2項の改正規定は、平成27年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

付 則

この会則は、平成29年4月26日から施行する。

付 則

この会則は、平成30年5月7日から施行する。ただし、改正後の規定は、平成30年4月1日から適用

する。

付 則

この会則は、平成31年3月28日から施行する。ただし、第13条第2項の改正規定は、平成31年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和2年4月28日から施行する。ただし、改正後の規定は、令和2年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和3年4月28日から施行する。

付 則

この会則は、令和4年4月 日 から施行する。ただし、改正後の規定は、令和4年4月1日から適用する。

別表1（第4条関係）

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会委員

役 職	職 名
委 員	鹿児島市長
委 員	始良市長
委 員	垂水市長
委 員	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所長
委 員	鹿児島地方気象台長
委 員	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所長
委 員	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署長
委 員	鹿児島県鹿児島地域振興局長
委 員	鹿児島県始良・伊佐地域振興局長
委 員	鹿児島県大隅地域振興局長
委 員	公益社団法人鹿児島県観光連盟専務理事
委 員	一般社団法人日本旅行業協会九州支部鹿児島県地区委員会委員長
委 員	鹿児島経済同友会幹事代表
委 員	公益社団法人鹿児島青年会議所理事長
委 員	国立大学法人京都大学火山活動研究センター長
委 員	国立大学法人鹿児島大学総合研究博物館長
委 員	公益財団法人鹿児島市水族館公社館長
委 員	鹿児島市立科学館長
委 員	鹿児島県立博物館長
委 員	石橋記念公園館長
委 員	鹿児島県地学会長
委 員	NPO 法人桜島ミュージアム理事長
委 員	NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事
委 員	NPO 法人くすの木自然館代表理事
委 員	桜島ジオサルク代表
委 員	ソーリズムたるみず代表
委 員	株式会社南日本新聞社営業局事業本部長
委 員	株式会社エフエム鹿児島代表取締役社長
委 員	鹿児島シティエフエム株式会社代表取締役社長
委 員	NPO 法人たるみずまちづくり放送理事長
委 員	株式会社あいらFM代表取締役
委 員	始良市観光協会会長
委 員	垂水市観光協会会長
委 員	鹿児島市観光交流局長
委 員	始良市企画部長
委 員	垂水市水産商工観光課長
監 事	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事
監 事	鹿児島市ホテル旅館組合理事長

別表2（第10条関係）

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会幹事会幹事

役職	職名
座長	鹿児島市観光交流局観光交流部長
幹事	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所調査第一課建設専門官
幹事	鹿児島地方気象台防災管理官
幹事	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所国立公園保護管理官
幹事	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署森林技術指導官
幹事	鹿児島県鹿児島地域振興局総務企画部総務企画課長
幹事	鹿児島県始良・伊佐地域振興局総務企画部総務企画課長
幹事	鹿児島県大隅地域振興局総務企画部総務企画課長
幹事	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会事務局長
幹事	公益社団法人鹿児島県観光連盟事務局長
幹事	一般社団法人日本旅行業協会九州支部鹿児島県地区委員会副委員長
幹事	鹿児島市ホテル旅館組合主幹
幹事	鹿児島経済同友会事務局長
幹事	公益社団法人鹿児島青年会議所理事代表
幹事	NPO 法人桜島ミュージアム理事長
幹事	NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事
幹事	NPO 法人くすの木自然館代表理事
幹事	桜島ジオサルク代表
幹事	ツーリズムたるみず代表
幹事	鹿児島市企画財政局企画部長
幹事	鹿児島市危機管理局次長
幹事	鹿児島市環境局環境部長
幹事	鹿児島市教育委員会事務局教育部長
幹事	鹿児島市船舶局次長
幹事	始良市商工観光課長
幹事	始良市危機管理課長
幹事	始良市生活環境課長
幹事	始良市学校教育課長
幹事	垂水市総務課長
幹事	垂水市水産商工観光課長
幹事	垂水市生活環境課長
幹事	垂水市学校教育課長

別表3（第12条関係）

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 学術アドバイザー

職 名	氏 名
国立大学法人京都大学防災研究所火山活動研究センター 教授	井口 正人
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	岩松 暉
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	大木 公彦
公益財団法人鹿児島市水族館公社 館長	佐々木 章
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	小林 哲夫
文化庁文化財部調査員	寺田 仁志
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	富永 茂人
NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事	東川 隆太郎
株式会社島津興業尚古集成館 館長	松尾 千歳

第 2 号議案

桜島・錦江湾ジオパーク推進計画改訂（案）

桜島・錦江湾ジオパーク推進計画を以下のとおり改訂する。（全文については別冊 1 参照）

1 改訂のポイント

(1) 全体構想の明文化

ジオパーク活動を通じた「持続可能な地域づくり」

(2) 基本方針の分類整理

- ①経 済・・・ジオ資源を活かした地域経済の活性化
- ②教 育・・・地域の未来を担う人材育成
- ③保護・保全・・・ジオ資源の保全・保護
- ④運 営 体 制・・・継続したジオパーク活動を行う体制づくり

(3) 推進計画と SDGs との関連を追加

(4) 計画期間の変更（6 年間→4 年間）

ジオパークの再認定審査毎に計画を見直す。

※推進計画改訂に併せて、ジオ資源保全計画も改訂する。（別冊 2 参照）

第3号議案

令和3年度事業報告

令和3年度は、鹿児島市、姶良市、垂水市で連携し、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図るため、ジオパーク活動に取り組んだほか、アジア太平洋ジオパークネットワークのオンラインミーティング参加など国際交流・国際貢献に関する取組を進めた。

I 世界ジオパーク認定に向けた取組

1 霧島ジオパークとのエリア統合に向けた取組

(1) 霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局との意見交換（2回）

【実施日】 令和3年6月22日（火）、12月2日（木）

【内容】 桜島・錦江湾ジオパークエリア拡大認定時の指摘事項、霧島ジオパークエリア拡大申請の進捗状況
両エリア統合に関する展望等

(2) 桜島・錦江湾ジオパークと霧島ジオパークのガイド交流

【実施日】 令和3年7月18日（日）

【参加者】 桜島・錦江湾ジオパークガイド、霧島ジオパークガイド、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会事務局、霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局

【内容】 霧島ジオパークガイドによる現地案内、参加者全員によるガイドに関する意見交換会

2 国際交流・国際貢献に関する取組

(1) アジア太平洋ジオパークネットワークオンラインミーティングへの参加（6回）

日本のジオパークと香港ユネスコ世界ジオパーク等でのオンラインミーティングでの各ジオパークにおける取組の共有や、毎回設定されるテーマについての意見交換等を行い、国内外のジオパークとのネットワーク強化を図った。

(2) ハンタングンジオパーク（韓国）とのオンライン交流（2回）

コロナ以前から交流のあったハンタングンジオパークとオンライン交流を実施し、両地域の現状、取組等に関する情報共有や、今後の住民を巻き込んだ交流内容について意見交換した。

(3) ハツェグカントリージオパーク（ルーマニア）との関係構築

ハツェグカントリージオパークが、マスコット人形を世界中に送り、その地域の見どころで写真撮影したものを SNS 等に掲載することにより、国境・文化等関係なくつながることを目的とした取組に参加し、今後の交流のきっかけとなる関係を構築した。

(4) クレーターレイクジオパーク（フィンランド）との関係構築

鹿児島市の池田学園とフィンランドの高校の交流において、両地域の共通コンテンツであるジオパークをテーマの一つとして設定し、両ジオパークの交流を始めるために、池田学園でのオンライン交流に参加した。



(5) タイジオパークネットワーク (TGN) とのオンライン交流への参加

日本ジオパークネットワーク (JGN) と TGN の活動状況の共有と今後の連携内容について意見交換を行った。

Ⅱ ジオパーク活動の展開

鹿児島市、姶良市、垂水市におけるジオパーク活動を推進し、ジオの魅力・特性を生かした観光交流の推進や、自然科学への認識の向上、鹿児島への愛着や誇りの醸成を図った。

【ジオパーク活動の実施概要】

1	ジオツアー		2回
2	石の文化と火山のつながりプロモーション		
	(1) 夏休み子ども集中講座		1回
	(2) ガイド研修会		2回
	(3) ガイドマップ作成		3,000部
	(4) ガイドマップを活用したガイド対象現地研修会		1回
3	ジオガストロノミープロモーション検討会議		1回
4	セミナー・ワークショップ		
	(1) ジョカフェ		3回
	(2) ジョ講座		4回
	(3) ジョ出前講座		4回
	(4) ワーキンググループ等		7回
5	イベント		
	(1) 桜島・錦江湾ジオパークスタンプラリー	(応募件数)	371件
6	学校教育への展開		
	(1) 副読本「大地のつくりと変化」の作成・配布	3市合計	104校
	(2) 郊外学習ガイド		1回
	(3) ジュニアリーダー研修会への講師派遣		1回
	(4) 大学との連携		2回
	(5) 桜島・錦江湾ジオパークスケッチコンクール	(応募件数)	2,709点
	(6) 県昆虫・貝・植物・岩石展における桜島・錦江湾ジオパーク賞の設置		4部門
7	防災に関する取組		
	(1) 桜島火山防災連絡会への参加		5回
	(2) 石橋記念館防災セミナーへの参加		1回
	(3) 防災カードゲーム「詮議」の活用		3回
	(4) 第52回桜島火山爆発総合防災訓練でのブース出展		1回
8	保全に関する取組		
	(1) 桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全会議の開催		1回
	(2) ジョ資源パトロールの実施		14箇所
9	認知度アンケート調査	(回答数)	106件
10	ガイド活動支援		
	(1) ガイド団体補助		1団体
	(2) 認定ジオガイドスキルアップ講座		2回

【ジオパーク活動の実施詳細】

1 ジョツアー（2回）

(1) まるごと体験！ジオパークバスツアー

始良市重富海岸での環境体験学習、鹿児島市松元での緑茶ブレンド体験を含むバスツアーを実施

【実施日】 令和3年10月3日（日）

【参加者】 40名

【ジオサイト等】 重富海岸



(2) 火山と海の恵みに出会う！錦江湾ジオクルーズツアー

クルーズ、カンパチえさやり等を通して、錦江湾の成り立ち、恵みを理解するクルーズツアーを実施

【実施日】 令和3年11月3日（水・祝）

【参加者】 27名

【ジオサイト等】 錦江湾、カンパチ養殖

【その他】 鹿児島東南ロータリークラブとの共催



2 石の文化と火山のつながりプロモーション

(1) 夏休み子ども集中講座

【実施日】 令和3年7月26日（月）

【参加者】 24名

【内容】 鹿児島市城山の成り立ち、地層観察等

(2) ガイド研修会

【実施日】 令和3年11月1日（月）

【参加者】 8名

【内容】 鹿児島市南部の地形・地質、阿多火砕流の分布等

(3) ガイドマップ作成（石の文化と火山のつながりマップ～阿多火砕流を追って～）

【内容】 鹿児島市南部のまち歩きやバスツアーで活用できるガイドマップの作成

【部数】 3,000部

(4) 新作ガイドマップを活用したガイド対象現地研修会

【実施日】 令和4年3月22日（火）

【参加者】 16名

【内容】 セツ島やグリーンファームで見られる阿多火砕流の観察と地形の説明・解説等



3 ジオガストロノミープロモーション

鹿児島の地形・地質と食（文化）とのつながりをストーリー付け、発信する取組の方向性を検討するため、民間の委員を交えた検討会議を開催した。

【実施日】 令和4年3月29日（火）

【委員】 5名

【内容】 桜島・錦江湾ジオパークのブランド力をいかに向上させるか、どう売り出してアピールするか、今後の取組体制や方向性について議論した。

4 セミナー・ワークショップ等

(1) ジオカフェ (3回)

幅広い世代にジオパークを周知するため、お茶やお菓子を楽しみながら気軽に桜島・錦江湾ジオパークの魅力に触れ、学べるイベントを実施

①オンラインイベント「ジオ酒場」

ジオパークに関わる人の裾野を広げるため、気軽にジオに触れられるオンラインイベント「ジオ酒場」を日本ジオツーリズム協会と共催で開催した。

【実施日】 令和4年2月18日(金)

【場所】 オンライン

【参加者】 45名

【テーマ】 「ジオパークって何だろう? ～いまさら聞けないジオパークの基本～」

②ジオカフェ in 垂水

キヌサヤ最中や森の駅のコーヒーをおやつにしながら、ジオから見る垂水の歴史・文化について学ぶ催しを開催した。

【実施日】 令和4年3月13日(日)

【場所】 猿ヶ城溪谷森の駅たるみず

【参加者】 21名

【講師】 東川 隆太郎氏 (NPO 法人かごしま探検の会)

③ジオカフェ in 始良

加治木のまちに残された地形を歩いてたどりながら、島津義弘公が加治木島津屋形をなぜそこに置いたのかを解き明かし、縁のある加治木饅頭を食べながら、地域の歴史・地質に触れるツアーを実施した。

【実施日】 令和4年3月19日(土)

【場所】 加治木郷土館

【参加者】 12名

【講師】 東川 隆太郎氏 (NPO 法人かごしま探検の会)

(2) ジオ講座 (4回)

①職員対象ジオ講座

エリア拡大したジオパークにおいて、拡大エリアでのジオサイトの特徴やその魅力を鹿児島市の職員に紹介した。

【実施日】 令和3年12月15日(水)

【場所】 鹿児島市役所みなと大通り別館ソーホー会議室

【参加者】 23名

【講師】 東川 隆太郎氏 (NPO 法人かごしま探検の会)

②ジオ講座 in 始良市「天福時摩崖仏とその周辺」

帖佐鍋倉・宇都の国分層群、鍋倉火砕流を中心に観察するツアーをおこなった。

【実施日】 令和4年2月23日(水・祝)

【場所】 鍋倉洞窟、総禅寺墓地、宇都集落 他

【参加者】 14名

【講師】 大木 公彦氏 (鹿児島大学名誉教授)

③ジオ講座 in 始良市「ジオパークを学校教育に活かすには」

教育関係者等に向けて、学校等でどのようにジオパークを取り入れられるかを考えるワークショップを開催した。

- 【実施日】 令和4年3月21日（月・祝）
- 【場 所】 加音ホール
- 【参加者】 9名
- 【講 師】 福島 大輔氏（NPO 法人桜島ミュージアム理事長）

④ジオ体験「ジオ・リバーウォーク」

猿ヶ城溪谷沿いを歩いて、水切り体験やロックバルランシング体験を通じて、垂水の地質を学ぶ講座を開催した。

- 【実施日】 令和3年12月12日（日）
- 【場 所】 猿ヶ城溪谷
- 【参加者】 13名
- 【講 師】 吉瀬 毅（世界遺産・ジオパーク推進課 ジオパーク学術推進員）

(3) ジオ出前講座（4回）

テーマ1「桜島・錦江湾ジオパークって何だろう？」

桜島・錦江湾ジオパークの魅力や鹿児島島の成り立ちを学ぶ講座

テーマ2「防災カードゲーム『詮議』」

郷中教育で重視された「詮議」を基にした、防災についてのカードゲームを活用し、防災について考える力を養う講座

	実施日	実施団体	テーマ	参加者
1	令和3年5月6日	鹿児島情報高等学校	桜島・錦江湾ジオパークって何だろう？	46名
2	6月21日	伊敷新村お達者クラブ	防災カードゲーム「詮議」	14名
3	11月9日	知的障害者施設ふれあい館	桜島・錦江湾ジオパークって何だろう？	48名
4	11月20日	知的障害者施設ふれあい館	桜島・錦江湾ジオパークって何だろう？	45名

(4) ワーキンググループ等（7回）

①始良市のジオストーリーに関する情報共有

拡大エリアの始良市のジオストーリーの深掘りのため、有識者や地元住民と各トピックをジオの視点から紡ぎ直した。

- 第1回【実施日】 令和3年5月17日（月）
【場 所】 重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム
【参加者】 7名
- 第2回【実施日】 令和3年6月14日（月）
【場 所】 重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム
【参加者】 6名
- 第3回【実施日】 令和3年7月12日（月）
【場 所】 重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム
【参加者】 6名

②垂水市のジオストーリーに関する情報共有

拡大エリアの垂水市のジオストーリーの深掘りのため、有識者や地元住民と各トピックを

ジオの視点から紡ぎ直した。

【実施日】 令和3年6月28日（月）

【場 所】 森の駅たるみず

【参加者】 9名

③拡大エリア全体看板ワークショップ

各市に設置する全体看板について関係者で検討するワークショップを開催した。

【実施日】 令和3年12月27日（月）

【場 所】 鹿児島市役所みなと大通り別館ソーホー会議室

【参加者】 17名

【内 容】 他ジオパーク事例、桜島・錦江湾ジオパークのデザイン戦略を共有し、ターゲットや目的、作成ポリシーを議論した。

④ジオパークワークショップ（その1）

拡大エリアの新しいストーリーについて、市民等と共有し、理解を深めるワークショップを実施

【実施日】 令和4年3月15日（火）

【場 所】 鹿児島市役所みなと大通り別館ソーホー会議室

【参加者】 10名

【内 容】 拡大エリアにおける溶結凝灰岩を使用した石材の文化



⑤ジオパークワークショップ（その2）

国連の掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の理解を深めるために、SDGs カードゲームを実施

【実施日】 令和4年3月15日（火）

【場 所】 鹿児島市役所みなと大通り別館ソーホー会議室

【参加者】 18名

【内 容】 SDGs カードゲーム



5 イベント

桜島・錦江湾ジオパークスタンプラリー

桜島・錦江湾ジオパークの見どころをめぐって、市民や観光客のジオに関する知識や認知度の向上を図ることを目的としてスタンプラリーを実施。（新型コロナウイルス感染症対策として、非接触で参加できるスマートフォンアプリを活用）

【実施日】 令和3年7月22日（木・祝）～11月30日（火）

【対象施設】 32施設

【応募件数】 371件（内、70件が全施設制覇）



6 学校教育への展開

(1) 副読本の作成・配布

地学への関心を高めるとともに、郷土への誇りや愛着の醸成を図るため、3市の小学6年生を対象に、理科の「大地のつくりと変化」の単元についての副読本を配布

①配布 7,195 部

- ・鹿児島市立小学校 76 校、附属小学校、池田小学校、三育小学校
- ・始良市立小学校 17 校
- ・垂水市立小学校 8 校

②活用状況に係るアンケート（対象 104 校中）

小学6年理科の単元「大地のつくりと変化」において、副読本を授業で活用したか？

- ・活用した 84 校（80.8%）【令和2年度：64 校（61.0%）】
- ・活用しなかった 4 校（3.8%）
- ・未回答 16 校（15.4%）

(2) 郊外学習ガイド

自分たちの住む桜島や身近な錦江湾の恵みについて学ぶ事を目的とし、認定ジオガイドとジオパーク国際推進員が桜峰小学校の児童・教諭にガイドを行った。

- ・桜峰小学校 1～4 年の児童 14 名 教諭 4 名



(3) ジュニアリーダー研修会へ講師派遣

県内のジュニア・リーダークラブ等で活動する中高生を対象にした研修会にジオパーク学術推進員を講師として派遣し、桜島や錦江湾の地形や景観、生物等についての講義を行い、鹿児島の自然・環境のすばらしさ、魅力等を再認識してもらい、保全の必要性に気付かせた。

(4) 大学との連携（2回）

- ・鹿児島女子短期大学「ライフデザイン論Ⅰ」

【実施日】 令和3年6月23日（水）

【内容】 桜島・錦江湾ジオパークの魅力、防災カードゲーム「詮議」

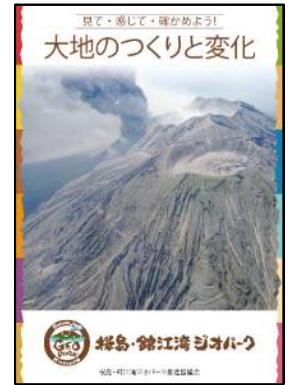
【参加者数】 55名

- ・学校法人国際大学（新潟県）留学生の桜島英語ガイド

【実施日】 令和3年12月23日（木）

【内容】 留学生に対する桜島の噴火時の対策や特産品などの桜島英語ガイド

【参加者数】 30名



(5) 桜島・錦江湾ジオパークスケッチコンクール

桜島や錦江湾の自然や風景、桜島・錦江湾での遊びや農業体験などのジオに関連するものを描くことを通じて、桜島・錦江湾ジオパークの魅力を知り、自分たちの住んでいる地域を再認識することで、愛着や誇りを持ってもらうことを目的として実施

【対 象】 鹿児島市、始良市、垂水市の市立小学校に通う小学生

【応募総数】 2,709点 (60 小学校)

【表彰式】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず、各小学校へ依頼

【受賞数】 鹿児島市長賞1点、始良市長賞1点、垂水市長賞1点、優秀賞8点、優良賞22点、桜島フェリー賞10点、学校賞3点

【展 示】 イオンモール鹿児島、イオンタウン始良、道の駅たるみずはまびら、重富海岸なぎさミュージアム等



鹿児島市長賞



始良市長賞



垂水市長賞

(6) 鹿児島県昆虫・貝・植物・岩石展における桜島・錦江湾ジオパーク賞の設置

小・中・高校生を対象とした夏休みの昆虫・貝・植物・岩石展において、4部門ごとに桜島・錦江湾ジオパーク賞を設置し、県内の理科教育及びジオパーク活動の普及を図った。

【主 催】 鹿児島県小中高等学校理科教育研究協議会

7 防災に関する取組

(1) 桜島火山防災連絡会への参加 (5回)

【内 容】 京都大学・鹿児島地方気象台による桜島の現状についての説明等

(2) 石橋記念館防災セミナーへの参加

【実施日】 令和3年10月16日(土)

【場 所】 石橋記念館

【参加者】 約30名

【内 容】 防災カードゲーム「詮議」

(3) 第52回桜島火山爆発総合防災訓練でのブース出展

桜島の噴火モデル実験を実施し、防災に関する啓発を行った。

【実施日】 令和4年1月8日(土)

【場 所】 鹿児島市立清水中学校



8 保全に関する取組

(1) ジオ資源保全会議の開催（桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全計画の改訂）

ジオ資源の保全と適切な利活用を図るため、桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全会議を設置し、関係機関との情報共有や意見交換等を実施した。また、現在のエリアとの整合性をとるため、「桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全計画」を改訂した。

【開催日】 令和4年2月7日（月）※書面開催

(2) ジオ資源パトロールの実施

ジオ資源の現状確認や、新たなジオ資源の調査のために、ジオ資源パトロールを行った。

鹿児島市：吉田貝化石層、松尾城跡の柱状節理、吉田麓の蒲生層、八重山

始良市：瀬貫の滝、塩田の碑、日木山宝塔、米丸マール

垂水市：高隈山系、高峠、まさかり海水浴場、新城麓海岸、がらっぱ公園、散花平（さっかびら）

9 認知度アンケート調査

桜島・錦江湾ジオパークの今後の事業展開の基となるデータ等を収集するため、認知度等のアンケートを実施した。

【対象】 桜島ビジターセンター来訪者

【調査期間】 令和4年1月6日（木）～3月14日（月）

【回答数】 106件

(1) 「ジオパーク」という言葉を知っていますか。

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前回比
知っている 又は、聞いた（見た）ことはある	56.5%	60.0%	49.0%	63.6%	61.3%	62.3%	1.0ポイント
知らない	37.4%	36.9%	44.8%	33.0%	33.9%	35.8%	1.9ポイント
未回答	6.1%	3.1%	6.2%	3.4%	4.8%	1.9%	▲2.9ポイント
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(2) 桜島・錦江湾エリアが日本ジオパークに認定され、「桜島・錦江湾ジオパーク」が誕生したことを知っていますか？

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前回比
知っている 又は、聞いた（見た）ことはある	36.2%	33.1%	31.9%	40.3%	46.8%	34.9%	▲11.9ポイント
知らない	57.1%	62.5%	62.4%	55.7%	46.8%	62.3%	15.5ポイント
未回答	6.7%	4.4%	5.7%	4.0%	6.4%	2.8%	▲3.6ポイント
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

10 ガイド活動支援

(1) 認定ジオガイド活動補助金交付

認定ジオガイドで構成される団体に対し、活動補助金を交付した。

【補助団体】 桜島ジオサルク

【補助金額】 200,000円

(2) 認定ジオガイドスキルアップ講座

①研修会

【実施日】 令和4年3月7日（月）

【場所】 国民宿舎レインボー桜島

【内 容】

第1部 ガイドにとって大切なこと

ガイドにとって大切なことは何かについて、自分自身で考えるため、お客様の視点での理想のガイドについて考えるワークショップを開催した。

第2部 ガイドに必要な要素

ジオガイドにとって必要なスキルとその理由について、①ガイドに必要な要素、②インタープリテーション、③教え方のうまい人がしていること、④福島メソッド、について解説。

第3部 ジオストーリーの作り方

ジオガイドプログラムで重要なストーリーについて、実戦形式でストーリーづくりを行い、第1部、第2部で学んだ視点からフィードバックを行った。

②オンライン研修のための zoom 使い方講座

【実施日】 令和4年2月7日（月）

【内 容】

コロナ禍で増えているオンラインミーティングに対応し、今後のオンライン研修等をスムーズに行うために zoom の使い方講座を開催した。

Ⅲ 情報発信

1 各種広報ツールの作成

桜島・錦江湾ジオパークのPRを行うため、消しゴムやボールペンを作成したほか、ポロシャツ等を作成し、市役所や関連施設等で販売した。

	作成数	庁内販売	委託販売	販売合計	販売金額
消しゴム	3,000 個	イベント等での配布用			
ボールペン	3,000 本				
ポロシャツ	358 枚	295 枚	39 枚	334 枚	666,245 円
畳コースター	-	200 枚	40 枚	240 枚	85,600 円
ジオパークマガジン	200 冊	0 冊	7 冊	7 冊	2,975 円

2 桜島・錦江湾ジオパークホームページやSNSの運用

- (1) 桜島・錦江湾ジオパークホームページやSNS（フェイスブック、インスタグラム）の運用
各種イベントの告知や実施状況について発信
- (2) 桜島爆発カウンターの更新

3 ガイドマップ等の作成・配布

- (1) 桜島・錦江湾ジオパークガイドマップ（日本語）を80,000部印刷し、関係機関及びレンタカー店等に配布した。
- (2) 桜島・錦江湾ジオパークガイドマップ（外国語（英語、中国語、韓国語））のデータを作成した。 ※印刷は令和4年度
- (3) 桜島周辺に特化したエリアマップを日本語版20,000部、外国語（英語、中国語、韓国語）版各15,000部増刷し、関係機関及びマップ上掲載店舗等に配付した。



4 体験プログラム動画の活用

令和2年度に作成した桜島・錦江湾ジオパークの自然などを体験できるプログラムの動画をホームページ、SNS等に掲載したほか、桜島フェリーターミナルにおいて放映した。



5 全体看板の作成・設置

関係者によるワークショップで検討した全体看板を、各市に1基ずつ設置した。

鹿児島市：鹿児島中央駅東口駅前広場



始良市：重富海岸



垂水市：猿ヶ城溪谷森の駅たるみず



6 イベントにおけるPR活動

実施日	イベント（主催）	PR内容	参加人数
令和3年7月22日（木・祝）	ふれあいクルーズ （鹿児島市職員課）	錦江湾のいきものぬりえ	83名
令和3年7月24日（土） 7月31日（土） 8月7日（土）	よりみちクルーズ船上セミナー （鹿児島市船舶局）	錦江湾のいきものぬりえ	15名 20名 20名
令和3年11月13日（土）	薩摩文化の祭典 （石橋記念公園）	石積み体験	87名
令和3年11月21日（日）	地域まるごと環境フェスタ （かごしま環境未来館）	プラスチック蓋で桜島の立体模型づくり	54名
令和3年11月28日（日）	お茶の里収穫祭 （お茶の里）	プラスチック蓋で桜島の立体模型づくり	8名
令和4年3月20日（日）	お茶の里7周年祭 （お茶の里）	プラスチック蓋で桜島の立体模型づくり	12名
令和4年3月21日（月・祝）	錦江湾初心者釣り体験 （鹿児島市グリーンツーリズム推進課）	認定ジオガイドによる錦江湾ガイド	13名



7 メディアによる情報発信

令和4年2月24日（木）FMかごしまの夕べ（NHK鹿児島放送局）

「桜島・錦江湾ジオパークについて、エリア拡大から1年が経って変化したこと」

8 JGN発行「GEOPARK Magazine Vol.9」での特集記事掲載

JGNが発行するジオパーク広報誌「GEOPARK Magazine Vol.9（令和4年3月発行）」に、新規認定エリアの特集記事を掲載した。

IV 日本ジオパークネットワーク等の活動

1 日本ジオパークネットワーク（以下、JGN）、日本ジオパーク委員会（以下、JGC）の大会、研修会等参加

(1) JGN通常総会（書面開催）

【開催日】 令和3年5月28日（金）

【内容】 事業報告・計画、決算・予算、役員選任

(2) JGN運営会議（オンライン）

【開催日】 令和3年8月23日（月）

【内容】 JGN運営会議の経緯・現状、JGN共通テスト等

(3) 第1回JGN全地域事務局長会議（オンライン）

【開催日】 令和3年8月31日（火）

【出席者】 鹿児島市世界遺産・ジオパーク推進課長
（桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会事務局長）

【内容】 通常総会以降の進捗状況、JGCの状況 等

(4) 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会（オンライン）

【開催日】 令和3年10月3日（日）～10月5日（火）

【内容】 エリア拡大新規認定証授与、分科会、ガイド講習会等



(5) 第2回JGN全地域事務局長会議（オンライン）

【開催日】 令和4年1月19日（水）

【出席者】 鹿児島市世界遺産・ジオパーク推進課長
（桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会事務局長）

【内容】 第1回事務局長会議以降の進捗状況、JGCの状況 等

2 JGNでの役割

- (1) JGN中期計画策定委員会委員：大迫事務局次長
- (2) 日本ジオパーク全国大会分科会ファシリテーター：柴国際推進員
- (3) 日本ジオパーク委員会現地調査員：柴国際推進員
- (4) JGNジオパークおためし検定問題作成委員：吉瀬学術推進員

3 九州ジオパーク

- (1) 第20回九州ジオパーク連絡会（オンライン）

【開催日】 令和3年9月10日（金）

【議 題】 全国大会パビリオン展示内容、自治体間連携、看板作成 等

【参考】 鹿児島市事業

1 桜島コンシェルジュセンターの運用

桜島・錦江湾ジオパークの案内や外国語（英語）対応を行うため、観光案内等業務委託を行うとともにジオパーク国際推進員・ジオパーク学術推進員を配置した。また、令和4年3月に観光庁「心のバリアフリー認定」を取得した。

【桜島コンシェルジュセンター利用実績】

		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
利用者数	観光	37,469	47,975	59,138	54,997	12,540	12,335
	その他	716	753	822	1,402	2,908	2,434
	計	38,185	48,728	59,960	56,399	15,448	14,769
対前年度（人数）		4,295	10,543	11,232	▲ 3,561	▲ 40,951	▲ 679
対前年度（割合）		112.67%	127.61%	123.05%	94.06%	27.39%	95.60%

2 桜島・錦江湾ジオパークWAON寄付金

桜島・錦江湾ジオパークのロゴマーク等をWAONのデザインにすることで、桜島・錦江湾ジオパークを市民等に広く周知するとともに、寄附金を受入れ、持続可能なジオパーク活動の確立を図る。

【寄 付 金 額】 380,063 円（上記WAONを利用して支払われた金額の 0.05%）

【寄附金の対象期間】 令和3年3月1日～令和4年2月28日（1年毎の自動更新）

3 民間企業等への協力

(1) 九州観光推進機構のアドベンチャーツーリズム商品造成支援

九州観光推進機構が桜島一周のアドベンチャーツーリズム商品を造成するにあたり、関係者・体験プログラム等の紹介を行い、実踏調査に同行した。

(2) 種子屋久高速船株式会社の錦江湾ジオクルーズツアー支援

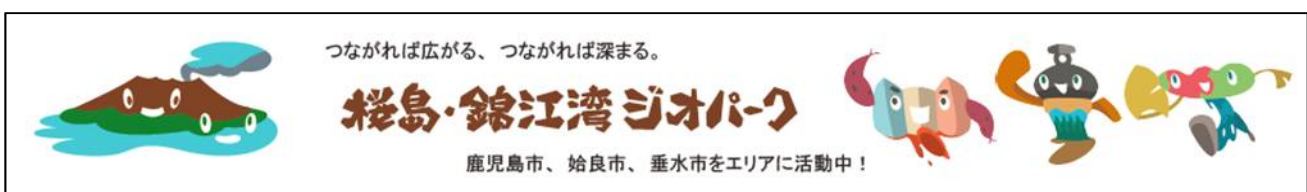
種子屋久高速船株式会社が県内小学生を対象として実証実施した錦江湾クルーズツアーについて、ガイドの紹介等を行い、実施後アンケート作成について支援した。

4 広報紙「市民のひろば」8月号での特集記事掲載

鹿児島市、始良市、垂水市が、各市の広報紙で同月にジオパークの特集記事を掲載した。

5 おはら祭本部席へのPR看板設置

令和3年11月3日（水・祝）に開催されたおはら祭で、桜島・錦江湾ジオパークのPR看板を設置した。



[参考] 始良市事業

- 1 ジオパーク活動に関する情報発信
 - (1) 令和3年5月から広報誌で始良市のジオの見どころを紹介する連載「ジオが育むたからもの」を開始した。
 - (2) 始良市エリアキャラクター「モマール」をデザインに入れたのぼりを作成した。
- 2 看板整備
 - (1) 龍門滝に桜島・錦江湾ジオパーク HP の QR コードを掲載した看板を整備した。
- 3 その他
 - (1) 龍桜高校イングトクリエイト科2年生の授業において、ジオパークを通して始良市を活性化するための企画を提案してもらった。出前講座を商工観光課や危機管理課が実施し、調査、研究のためのフィールドワークに NPO 法人くすの木自然館が同行した。
2月には企画発表会がオンラインで開催され、参加した。



[参考] 垂水市事業

- 1 ジオパーク活動に関する情報発信
 - (1) 垂水市のホームページや広報誌「TARUMIZU」、水産商工観光課 Facebook 等において、ジオパーク活動に関する情報発信を行った。
 - 2 看板整備
 - (1) 桜島・錦江湾ジオパークの自然サイトの一つである霧島錦江湾国立公園「高峠つつじヶ丘公園」内に、案内看板を整備した。
 - 3 ジオパークステッカーの作成
 - (1) 桜島・錦江湾ジオパークの認知度向上を目的とし、本事業推進に協力いただける企業へ配布するために、2種類のステッカーを作成した。
- その他：奥桜島「散花平（さっかびら）」探検登山の実施
- (1) 桜島の大正・昭和の大噴火の状況が見て取れる、奥桜島「散花平」の状況を確認し登山ルートを模索するために、令和4年2月20日に奥桜島散花平探検の会主催による、第1回散花平探検登山が実施された。



令和3年度収支決算

【収入】

【単位：円】

款項	目	予算額	流用額	予算現額	収入済額	増減額	備考
負担金		20,316,000	0	20,316,000	20,316,000	0	
	負担金	20,316,000		20,316,000	20,316,000	0	鹿児島市、始良市、垂水市
協賛金		300,000	0	300,000	0	▲ 300,000	
	協賛金	300,000		300,000		▲ 300,000	
諸収入		140,163	0	140,163	754,977	614,814	
	諸収入	140,163		140,163	754,977	614,814	グッズ等販売、預金利息
繰越金		6,343,837	0	6,343,837	6,343,837	0	
	繰越金	6,343,837		6,343,837	6,343,837	0	前年度繰越
	合計	27,100,000	0	27,100,000	27,414,814	314,814	

【支出】

【単位：円】

款項	目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	不用額	主な内訳
事業費		22,191,000	1,000,000	23,191,000	21,267,911	1,923,089	
	世界認定経費	223,000		223,000	0	223,000	
	ジオ活動費	10,968,000	▲ 700,000	10,268,000	8,961,831	1,306,169	・推進活動支援業務委託料 6,231,000 ・副読本印刷製本費 1,574,430
	情報発信費	11,000,000	1,700,000	12,700,000	12,306,080	393,920	・ガイドマップ印刷製本費 3,355,000 ・ガイドマップ翻訳費 2,750,000 ・全体看板デザイン・設置費 1,726,500
事務局費		4,609,000	▲ 1,000,000	3,609,000	1,420,333	2,188,667	
	事務費	4,609,000	▲ 1,000,000	3,609,000	1,420,333	2,188,667	・負担金 (JGN年会費など) 677,000 ・備品購入費 169,950
予備費		300,000	0	300,000	0	300,000	
	予備費	300,000		300,000			
	合計	27,100,000	0	27,100,000	22,688,244	4,411,756	

(収入済額計)

27,414,814 円

(支出済額計)

22,688,244 円

4,726,570 円 (翌年度へ繰越)

令和3年度
桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会
会計監査報告

令和3年度桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会の会計収支決算について、関係帳簿、預金通帳、領収書を基に監査いたしましたところ、適正に処理されていることを認めましたので、報告いたします。

令和4年4月15日

監事 公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会

専務理事 園師 俊彦



監事 鹿児島市ホテル旅館組合

理事長 淵村 文一郎



第5号議案

令和4年度事業計画（案）

「持続可能な地域づくり」を目指し、観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図り、ツアーの実施など、地域と一体となったジオパーク活動の取組を推進する。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、事業の中止や手法の見直しなど、柔軟に対応していく。

経済

(1) 観光振興

- ・ジオツアー
- ・スタンプラリー
- ・セミナー・ワークショップ等（※ストーリーづくりや説明板の作成に係る取組）
- ・ガイドマップの作成
- ・説明板の作成
- ・ガイド活動支援
- ・鹿児島県の石の文化と火山のつながりプロモーション
- ・体験アクティビティ等プロモーション **新規**

観光客等に体験アクティビティ等を認知、活用してもらうため、旅行業者等と連携したプロモーションを実施する。

(2) 産業振興

- ・ジオガストロノミープロモーション **拡充**

桜島・錦江湾ジオパークの食と文化に関わるストーリーについて調査・整理し、商品販売等での情報発信の方法について検討を進める。

教育

(1) 環境教育

- ・スケッチコンクール
- ・ジオキッズ講座

(2) 防災教育

- ・防災カードゲーム「詮議（桜島火山対策の巻）」の実施
- ・桜島火山爆発総合防災訓練への参加

(3) 地球科学的教育

- ・小学6年生向け副読本の増刷・活用
- ・スーパーサイエンスハイスクールの課題研究に対する支援
- ・中学生向け地域資源素材集の作成

保護・保全

(1) ジオサイトの適切な保全

- ・ジオ資源保全台帳の整備
- ・ジオ資源保全会議の開催
- ・ジオ資源パトロールの実施

(2) 学術的根拠の充実

- ・学術研究助成の実施 **新規**

当エリアのジオストーリーの科学的根拠の充実を図るため、当エリア内での野外調査・研究を行う研究者に対し助成を行う。またその成果は報告会で、市民等へ広く周知する。

運営体制

(1) 協議会体制

- ・霧島ジオパークとのエリア統合に向けた協議

＜ユネスコ世界ジオパーク認定までの流れ＞ 以下の申請を順次行う。

- ①霧島のエリア拡大認定申請
- ②桜島・錦江湾と霧島のエリア統合申請
- ③統合ジオパークの国内推薦申請
- ④ユネスコ世界ジオパーク申請

(2) 地域社会の参画

- ・ジオカフェ
- ・民間企業との連携

(3) ネットワーク活動

- ・第7回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム（タイ）への出席 **新規**
世界ジオパークとの関係構築及び当地域の事例についての口頭発表、ポスター発表を行うために、本シンポジウムに出席する。
- ・アジア太平洋ジオパークネットワークオンライン会議への参加
- ・海外ジオパークとの交流
- ・日本ジオパークネットワーク 2022 年度通常総会
- ・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会
- ・全地域事務局長会議
- ・第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会（白山手取川ジオパーク：石川県）
令和4年10月21日（金）～23日（日）
- ・第17回全国研修会（栗駒山麓ジオパーク：宮城県）

(4) 広報・広聴

- ・ホームページやSNSによる情報発信
- ・イベントにおけるPR活動（日本ジオパーク全国大会、他地域イベントなど）
- ・桜島に関する情報発信

第6号議案

令和4年度収支予算（案）

【収入】

[単位：円]

款項	目	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増減額	備考
負担金		20,193,000	20,316,000	▲ 123,000	
	負担金	20,193,000	20,316,000	▲ 123,000	4年度:鹿児島市15,819千円、始良市2,872千円、垂水市1,502千円
協賛金		450,000	300,000	150,000	
	協賛金	450,000	300,000	150,000	ガイドマップ広告協賛、寄附金
諸収入		380,430	140,163	240,267	
	諸収入	380,430	140,163	240,267	預金利息、PRグッズ(ポロシャツ等)販売収入など
繰越金		4,726,570	6,343,837	▲ 1,617,267	
	繰越金	4,726,570	6,343,837	▲ 1,617,267	前年度繰越
合計		25,750,000	27,100,000	▲ 1,350,000	

【支出】

[単位：円]

款項	目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	増減額	主な内訳
事業費		17,630,000	18,665,000	▲ 1,035,000	
	経済活動費	13,950,000	15,690,000	▲ 1,740,000	ガイドマップ印刷経費等 2,855,930 ジオガストロノミープロモーション【拡】 1,450,120 ジオツアー 1,404,095
	教育活動費	2,572,000	2,572,000	0	副読本作成経費 1,990,330 スケッチコンクール 163,230
	保護・保全活動費	1,108,000	403,000	705,000	学術研究助成【新】 928,000 ジオ資源パトロール 180,000
事務局費		7,820,000	8,135,000	▲ 315,000	
	協議会運営費	7,820,000	8,135,000	▲ 315,000	旅費 3,049,000 (JGN総会、全国大会、全国研修会、九州ジオパーク連絡会など) 各種負担金 1,260,000 (JGN年会費、JGN活動負担金、APGNシンポジウム出席負担金など) 委託料 2,679,000 (ワーキンググループ開催、ホームページ保守管理、情報発信、PRグッズ作成など)
予備費		300,000	300,000	0	
	予備費	300,000	300,000	0	
合計		25,750,000	27,100,000	▲ 1,350,000	

ただし、必要な経費に過不足が生じたときは、収入の範囲内で、必要な経費に使用できるものとする。